

## 一般検査(尿検査, 十二指腸検査)

項目コード	検査項目	検体・必要量 (mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
<b>尿検査</b>								
5600	蛋白定性	尿 10 冷	1	試験紙法	(-)~(±)	26 尿 ※1	新鮮尿を提出して下さい  保存剤は使用しない  沈渣判定基準 - 0 / 全視野倍率400倍 ± 1~4個 / 数視野円柱のみ倍率400倍 + 1~3 / 1視野 2+ 4~10 / 1視野 3+ 多数 / 1視野 4+ 無数 / 1視野	3~4
5601	糖定性				(-)			
5602	ウロビリノーゲン定性				(±)			
5603	ビリルビン定性				(-)			
5606	pH				5.0~7.5			
5605	ケトン体定性				(-)			
5604	潜血反応				(-)			
5607	比重				1.006~1.030			
5650	沈渣	尿 10 冷	1	鏡検法	赤血球 (-)~(±) 白血球 (-)~(±) 扁平上皮 (-)~(±)	36 尿 ※1	染色標本による 経時変化が著しい為、参考値 としてご利用下さい 定性検体とは別に尿を提出	1~3
5620	蛋白定量	尿 5 冷	1	比色法 (ピロガロール レッド法)	6 mg/dL 以下(部分尿)	7 尿	保存剤は使用しない 21~120 mg/day	2~3
5625	糖定量			酵素電極法	0.03 g/dL 以下(早朝尿)	9 尿	0.13~0.50 g/day	1~2

※1 当該保険医療機関内で検査を行った場合のみ算定できる 判断料は算定出来ない

## 一般検査(髄液検査, 穿刺液検査, 結石分析)

項目コード	検査項目	検体・必要量 (mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数	
<b>髄液検査</b>									
5704	比重	髄液 3～5 冷	41	屈折計法	1.005～1.007	62 尿	経時変化が著しい為、参考値としてご利用下さい	1～3	
5701	グロブリン反応			ノンネアペルト反応	比濁法 (Nonne-Apelt法)				(-)
5702				パンディー反応	比濁法 (Pandy法)				(-)～(±)
5703	トリプトファン反応			比色法 (里見変法)	(-)				
5709	細胞数			鏡検法	0～5 /mm <sup>3</sup>	11 生 I		1～3	
5710	細胞種類			鏡検法	%				
5730	蛋白定量			41	比色法 (ピロガロールレッド法)	10～40 mg/dL		11 生 I	1～3
5738	糖定量				Glucose-Oxydase法 (電極法)	50～75 mg/dL			
5739	クロール				電極法	120～125 mEq/L			
<b>穿刺液検査</b>									
5752	比重	穿刺液 5～10 冷	41	屈折計法	滲出液 1.018以下 漏出液 1.015以下	11 生 I	抗凝固剤を添加して下さい 穿刺液1mLにヘパリン0.01～0.1mg  経時変化が著しい為、参考値としてご利用下さい	1～3	
5753	リバルタ反応			比濁法 (Rivalta法)	滲出液 (+) 漏出液 (-)				
5750	蛋白定量			比色法 (ビューレット法)	滲出液 4 g/dL 以上 漏出液 2.5 g/dL 以下				
5754	潜血反応			試験紙法	(-)				
5765	沈渣			鏡検法					
<b>結石分析</b>									
5833	結石分析定量 (成分比率)	5 mg以上 室	1	赤外線吸収スペクトル法	含有主成分の比率 %	120 生 II	乾燥した状態で提出して下さい A	3～5	

## 一般検査(糞便, 寄生虫検査)

項目コード	検査項目	検体・必要量 (mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
<b>糞便検査</b>								
5675	糞便中ヒトヘモグロビン (OCヘモディア)	1回法	冷	33	ラテックス凝集法	(-)	便は専用容器に添付の説明書に従って採取して下さい	2~3
5672		2回法	冷	33		(-)		37×2尿
5678	糞便中ヒトヘモグロビン定量	冷	33	ラテックス凝集法	120 ng/mL 未満	41尿		2~3
<b>寄生虫検査</b>								
5660	虫卵	直接塗抹	糞便 拇指頭大 冷	42	鏡検法	(-)		20尿
5661		集卵法						集卵・鏡検法
5667	寄生虫虫体鑑別	虫体 冷						2~7